

- 一、次の(1)～(7)の問いに答えなさい。【H20】
- (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。
- ①二人は交互に試合をした。
- ②通勤のためこの地方に赴任した。
- ③木の枝が垂れ下がる。

①	②	③
れ		

- (2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。
- ①結婚式にショウタイされる。
- ②世論を反映したセイサクを立てる。
- ③自分で店をイトナむ。

①	②	③
む		

- (3) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

法

ア、建 イ、粉 ウ、姉 エ、位

- (4) 次の文の——線部の「に」と、言葉のきまりや意味のうえで同じ「に」を含む文を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

私は、美しい絵画に見とれていた。

ア、彼は部屋をきれいに片付けた。

イ、その花は雪のように白かった。

- ウ、彼女が乗ったバスはすでに出発した。
- エ、彼は最新の科学技術に触れた。

ア、新学期 イ、造船所  
ウ、無意識 エ、衣食住

- (6) 次の文は、生徒から担任の先生にあてた手紙文の一部である。——線部の「もらった」を適切な敬語に直して書け。

これからも先生からもらったアドバイスを胸に  
刻んで、努力をしていきたいと思えます。

- (7) 次の文は、文の組み立てに誤りがある。正しい組み立てにするにはどうすればよいか。その説明として適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

彼の性格は、誰とでもあいさつを交わせる  
気さくな人である。

ア、「彼の性格は」を「彼は」にする。

イ、「誰とでも」の後に読点をつけ、「誰とでも」にする。

ウ、「誰とでもあいさつを」を「あいさつを誰とでも」にする。

エ、「気さくな人である」を「気さくである」にする。

- 一、次の(1)～(6)の問いに答えなさい。【H21】
- (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。
- ①倒れた街路樹を撤去する。
- ②過去の体験が脳裏に浮かぶ。
- ③合唱の指揮を執る。

①	②	③

- (2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。
- ①世界最高峰のトウチヨウに成功した。
- ②崩れていた道路がフツキユウした。
- ③オリよく友達と出会った。

①	②	③

- (3) 漢字の「福」を行書で書くとき、その部首の書き方として正しいものを後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

書け。

ア、イ、ウ、エ、

- (4) 次のア～エの文について、——線部の故事成語を正しく用いて、文の意味が成り立っているものを一つ選び、その記号を書け。

ア、蛇足を加えて、説明の足りないところを補った。

イ、彼の主張は矛盾した筋の通らないものだった。

ウ、二人の意見の間には、五十歩百歩もの違いがあった。

エ、彼女は自分の描いた風景画を推敲して完成させた。

- (5) 次の文の——線部の「ない」と言葉のきまりや意味のうえで同じ「ない」を含む文を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

私は悔いのないように、全力を尽くしたいと思う。

ア、私は彼が何を考えているのかが分からない。

イ、おなががいっぱいでこれ以上は食べられない。

ウ、約束の時間になっても友達が来ない。

エ、電車に乗ったが空いている席がない。

- (6) 次の文章を読み、後のI・IIの問いに答えよ。

慣用句の中には、必ずしも正しい意味が理解されているとは言えないものもあります。

例えば、「気が置けない」という慣用句は「相手に気配りや遠慮をしなくてよいこと」という意味です。□、ある調査では、半数近くの人が「相手に気配りや遠慮をしなくてはいけません」と、逆の意味にとらえているという結果が出ています。そこで、この慣用句をいくつかの国語辞典で調べてみると、間違っていた意味で誤用していることについても説明されていました。

- I、文章中の□に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、しかし イ、つまり  
ウ、ですから エ、そのため

- II、文章中には、意味の重複による不適切な表現がある。その部分を文章中から十三字で抜き出して書け。

- 一、次の(1)～(7)の問いに答えなさい。【H20】
- (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。
- ①二人は交互に試合をした。
  - ②通勤のためこの地方に赴任した。
  - ③木の枝が垂れ下がる。

①	こうご
②	ふにん
③	たれ

- (2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。
- ①結婚式にショウタイされる。
  - ②世論を反映したセイサクを立てる。
  - ③自分で店をイトナむ。

①	招待
②	政策
③	営む

- (3) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

法

ア、建 イ、粉 ウ、姉 エ、位 (八画)

ウ

- (4) 次の文の——線部の「に」と、言葉のきまりや意味のうえで同じ「に」を含む文を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

私は、美しい絵画に見とれていた。

(動作の対象を表す格助詞)

エ

- ア、彼は部屋をきれいに片付けた。(形容動詞の活用語尾)  
 イ、その花は雪のように白かった。(たとえを表す助動詞)  
 ウ、彼女が乗ったバスはすでに出発した。(副詞「すでに」の一部)  
 エ、彼は最新の科学技術に触れた。

一つ選び、その記号を書け。(競技十念)

ア、新学期(新+学期) イ、造船所(造船+所)  
ウ、無意識(無+意識) エ、衣食住(衣+食+住)

イ

- (6) 次の文は、生徒から担任の先生にあてた手紙文の一部である。——線部の「もらった」を適切な敬語に直して書け。

これからも先生からもらったアドバイスを胸に刻んで、努力をしていきたいと思えます。

「もらう」の謙譲語→ いただいた

- (7) 次の文は、文の組み立てに誤りがある。正しい組み立てにするにはどうすればよいか。その説明として適切なものを、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

彼の性格は、誰とでもあいさつを交わせる気さくな人である。

- ア、「彼の性格は」を「彼は」にする。  
 イ、「誰とでも」の後に読点をつけ、「誰とでも」にする。  
 ウ、「誰とでもあいさつを」を「あいさつを誰とでも」にする。  
 エ、「気さくな人である」を「気さくである」にする。

(述部「気さくな人である」に合う主語に直す。)

ア

- 一、次の(1)～(6)の問いに答えなさい。【H21】
- (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。
- ①倒れた街路樹を撤去する。
  - ②過去の体験が脳裏に浮かぶ。
  - ③合唱の指揮を執る。

①	てつきょ
②	のうり
③	とる

- (2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。
- ①世界最高峰のトウチヨウに成功した。
  - ②崩れていた道路がフツキユウした。
  - ③オリよく友達と出会った。

①	登頂
②	復旧
③	折

- (3) 漢字の「福」を行書で書くとき、その部首の書き方として正しいものを後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、 (木へん) イ、 (のぶん)  
ウ、 (手へん) エ、 (しめすへん)

エ

- (4) 次のア～エの文について、——線部の故事成語を正しく用いて、文の意味が成り立っているものを一つ選び、その記号を書け。

- ア、蛇足を加えて、説明の足りないところを補った。  
 イ、彼の主張は矛盾した筋の通らないものだった。  
 ウ、二人の意見の間には、五十歩百歩もの違いがあった。  
 エ、彼女は自分の描いた風景画を推敲して完成させた。

イ

- (5) 次の文の——線部の「ない」と言葉のきまりや意味のうえで同じ「ない」を含む文を、後のア～エから一つ

私は悔いのないように、全力を尽くしたいと思う。(形容詞)

- ア、私は彼が何を考えているのかが分からない。  
 イ、おなががいっぱいでこれ以上は食べられない。  
 ウ、約束の時間になっても友達が来ない。  
 エ、電車に乗ったが空いている席がない。

エ

- (6) 次の文章を読み、後のI・IIの問いに答えよ。  
 (ア・イ・ウの「ない」は助動詞。「ない」を「ぬ」に言い換えられれば形容詞)

慣用句の中には、必ずしも正しい意味が理解されているとは言えないものもあります。

例えば、「気が置けない」という慣用句は「相手に気配りや遠慮をしなくてよいこと」という意味です。□、ある調査では、半数近くの人が「相手に気配りや遠慮をしなくてはいけません」と、逆の意味にとらえているという結果が出ています。そこで、この慣用句をいくつかの国語辞典で調べてみると、間違った意味で誤用していることについても説明されています。(間違った使い方をすること)の意

- I、文章中の□に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、しかし イ、つまり  
ウ、ですから エ、そのため

ア

- II、文章中には、意味の重複による不適切な表現がある。その部分を文章中から十三字で抜き出して書け。

間違った意味で誤用している

- 一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H22】
- (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。
- ①すぐれた人物を輩出する。
  - ②コンクールで佳作になった。
  - ③趣味に時間を割く。

①	②	③

- (2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。
- ①大きな川のゲンリユウをたずねる。
  - ②旅行のメンミツな計画をたてる。
  - ③演技のうまさに舌をまく。

①	②	③

- (3) 次の行書で書かれた漢字を、楷書で書いたときの総画数を数字で書け。

民

--

- (4) 次の文の——線部の「染まる」と、同じ活用の種類の動詞を含む文を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

イチヨウの葉が黄金色に染まる。

--

- ア、昨夜はあまりにも寒かったので重ね着をした。  
 イ、私の趣味は休みの日にゆつくりと本を読むことだ。  
 ウ、この数学の問題は公式を用いれば簡単だ。  
 エ、この仕事を軌道に乗せるにはもうひと工夫が必要だ。  
 (5) 次の手紙文は、職場体験活動に参加した生徒から、会社の担当者にあてたお礼状の一部である。これを読み、後のI・IIの問いに答えよ。

拝啓

日に日に寒くなってまいりました。皆様にはいかががお過ごしでしょうか。こちらは二学期のおもな行事も終わり、期末テストに向けて勉強に取り組んでいるところです。

先日はお忙しい中、職場体験活動をさせていただき、ありがとうございました。体験を通して、働くことの意義や仕事に対する心構えなどを学ぶことができました。今回の体験を生かし、将来、少しでも人の役に立てる生き方ができるように、日々の学習を大切にしていきたいと思っております。

そのような私たちの決意も含め、職場体験活動のレポートを、貴社に行った際に撮らせていただきました写真とあわせて、同封しますので、ご覧ください。

末筆ながら皆様のご健康をお祈りします。

敬具

- I、文章中の□に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、さて イ、だから  
 ウ、なぜなら エ、したがって

--

- II、文章中の——線部の「行った」を適切な敬語表現に直して書け。

--

- 一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H23】
- (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ①重要事項を網羅する。
- ②名人から料理の極意を授かる。
- ③貯金で旅行の費用を賄う。

①	②	③

- (2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ①情報のテイキョウをする。
- ②新型の旅客機がシユウコウする。
- ③熱いお茶をサます。

①	②	③

- (3) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

棒

- ア、馬 イ、都 ウ、遠 エ、勝

--

- (4) 次の文の□には、「物事が予定通りに調子よく進むこと」という意味を持つ四字熟語が入る。その四字熟語を、後にあげる漢字の中から四字を選び、適切に組み合わせさせて書け。

彼は□な人生を送っている。

- 万・歩・順・調・準・風・班  
 夫・帆・船・満・序

--

- (5) 「ほんのわずかであること」という意味をもつ慣用句を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、雀の涙 イ、鯉の滝登り  
 ウ、猫に小判 エ、鶴の一声

--

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H22】

- (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。
- ①すぐれた人物を輩出する。
- ②コンクールで佳作になった。
- ③趣味に時間を割く。

①	はいしゅつ
②	かさく
③	さく

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ①大きな川のゲンリユウをたずねる。
- ②旅行のメンミツな計画をたてる。
- ③演技のうまさに舌をまく。

①	源流
②	綿密
③	巻く

(3) 次の行書で書かれた漢字を、楷書で書いたときの総画数を数字で書け。

民 (楷書は「民」)

5画

(4) 次の文の——線部の「染まる」と、同じ活用の種類の動詞を含む文を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

イチヨウの葉が黄金色に染まる。(五段活用)

イ

ア、昨夜はあまりにも寒かったので重ね着をした。(サ変)  
 イ、私の趣味は休みの日にゆっくりと本を読むことだ。(五段)  
 ウ、この数学の問題は公式を用いれば簡単だ。(上二)  
 エ、この仕事を軌道に乗せるにはもうひと工夫が必要だ。(下二)

(5) 次の手紙文は、職場体験活動に参加した生徒から、会社の担当者にあてたお礼状の一部である。これを読み、後のI・IIの問いに答えよ。

拝啓

日に日に寒くなってまいりました。皆様にはいかがお過ごしでしょうか。こちらは二期のおもな行事も終わり、期末テストに向けて勉強に取り組んでいるところです。

先日はお忙しい中、職場体験活動をさせていただき、ありがとうございました。体験を通して、働くことの意味や仕事に対する心構えなどを学ぶことができました。今回の体験を生かし、将来、少しでも人の役に立てる生き方ができるように、日々の学習を大切にしていきたいと思っております。

そのような私たちの決意も含め、職場体験活動のレポートを、貴社に行った際に撮らせていただいた写真とあわせて、同封しますので、ご覧ください。

末筆ながら皆様のご健康をお祈りします。

敬具

I、文章中の□に当てはまる言葉として適切なものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、さて イ、だから  
ウ、なぜなら エ、したがって

ア

II、文章中の——線部の「行った」を適切な敬語表現に直して書け。

(「行った」の主語は「私たち」なので、謙譲語「うかがう」)

うかがった (伺った)

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H23】

(1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ①重要事項を網羅する。
- ②名人から料理の極意を授かる。
- ③貯金で旅行の費用を賄う。

①	もうら
②	ごくい
③	まかなう

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ①情報のテキヨウをする。
- ②新型の旅客機がシユウコウする。
- ③熱いお茶をサます。

①	提供
②	就航
③	冷ます

(3) 次の行書で書かれた漢字を楷書で書くとき、総画数が同じ漢字を、後のア～エから一つ選び、その記号を書け。

棒 (楷書は「棒」で十二画)

ア、馬 イ、都 ウ、遠 エ、勝

(十画) (十二画) (十三画) (十二画)

エ

(4) 次の文の□には、「物事が予定通りに調子よく進むこと」という意味を持つ四字熟語が入る。その四字熟語を、後にあげる漢字の中から四字を選び、適切に組み合わせる。

彼は□な人生を送っている。

万・歩・順・調・準・風・班  
夫・帆・船・満・序

順風満帆

(5) 「ほんのわずかであること」という意味をもつ慣用句を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、雀の涙 (ほんのわずかであること)  
イ、鯉の滝登り (人が立身出世すること)  
ウ、猫に小判 (価値あるものでも持つ人によって何の役に立たないこと)

ア

エ、鶴の一声 (権威者・有力者などの、周りの人を威圧し、否応なく従わせる一言のこと)

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H 24】  
 (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 景気回復の兆候がある。
- ② 試合に向けて奮起する。
- ③ 将来は医師を志す。

①	②	③	す
---	---	---	---

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 食糧を倉庫にチヨゾウする。
- ② 交流試合でシンゼンを深める。
- ③ 公園でオサナイ兄弟が遊ぶ。

①	②	③	い
---	---	---	---

(3) 漢字「活」の部首と同じ部首をもつ漢字を行書で書いたものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、補
- イ、伯
- ウ、演
- エ、絡

(4) 「有意義」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、好都合
- イ、自主的
- ウ、松竹梅
- エ、向上心

(5) 「身から出たさび」と同じ意味で用いられる熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、徹頭徹尾
- イ、粉骨砕身
- ウ、自画自賛
- エ、自業自得

一、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。【H 25】

(1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 鉄分を含有する食品をとる。
- ② 高知県の産業の振興を図る。
- ③ 友人を生徒会長に推す。

①	②	③	す
---	---	---	---

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 新聞広告でセンデンする。
- ② 道路をカクチョウする。
- ③ 友人の誕生日をイワウ。

①	②	③	う
---	---	---	---

(3) 次の行書で書かれた漢字を、楷書で書いたときの総画数を数字で書け。

護

--

(4) 「自分の都合のよいように言ったり、したりすること」という意味をもつ四字熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、大義名分
- イ、我田引水
- ウ、馬耳東風
- エ、付和雷同

--

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H 26】  
 (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 至上の幸福を味わう。
- ② 利用者の便宜をはかる。
- ③ 名人の誉れが高い。

①	②	③	れ
---	---	---	---

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 議論がハクネツする。
- ② ヒハンに耳を傾ける。
- ③ 科学の実験をココロみる。

①	②	③	みる
---	---	---	----

(3) 次の行書で書かれた漢字のへんの名称を、ひらがなで書け。

被

--

(4) 敬語の使い方として誤った表現を含む文を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、母が先生にお会いしたいと申しております。
- イ、私たちの学級新聞ができましたので、先生も拝見してください。
- ウ、学習発表会の当日は、お客様が大勢いらつしやいます。
- エ、春休みに、先生のお宅にうかがってもよろしいですか。

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H 27】

(1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 鳥が大空を旋回する。
- ② 昔からの習慣を踏襲する。
- ③ 先輩に敬意を払う。

①	②	③	う
---	---	---	---

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① カクチョウの高い文章である。
- ② 飛行機のソウジュウを学ぶ。
- ③ 出発を翌日にノバす。

①	②	③	ばす
---	---	---	----

(3) 次の行書で書かれたア～エの漢字のうち、漢字を組み立てている部分の中の「かんむり」の筆順が、楷書で書く場合と異なっているものを一つ選び、その記号を書け。

ア、荷

--

(4) 「人の意見や批評などを、心にとめないで聞き流すこと」という意味を持つ四字熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、行雲流水
- イ、朝令暮改
- ウ、神出鬼没
- エ、馬耳東風

--

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H24】  
 (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 景気回復の兆候がある。
- ② 試合に向けて奮起する。
- ③ 将来は医師を志す。

①	ちょうこう
②	ふんき
③	こころざし

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 食糧を倉庫にチヨゾウする。
- ② 交流試合でシンゼンを深める。
- ③ 公園でオサナイ兄弟が遊ぶ。

①	貯蔵
②	親善
③	幼い

(3) 漢字「活」の部首と同じ部首をもつ漢字を行書で書いたものを、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、**補** (ころもへん) イ (にんべん)  
 ウ、**演** (さんずい) エ、**絡** (いとへん) 伯

(4) 「有意義」と同じ組み立ての熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。 (意義が有る)  
 ア、好都合 (都合が好い) イ、自主的 (自主的)  
 ウ、松竹梅 (松+竹+梅) エ、向上心 (向上する心)

(5) 「身から出たさび」と同じ意味で用いられる熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、徹頭徹尾 (初めから終わりまで) イ、粉骨砕身 (力の限り努力する)  
 ウ、自画自賛 (自分で自分をほめる) エ、自業自得

一、次の(1)～(4)の問いに答えなさい。【H25】

(1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 鉄分を含有する食品をとる。
- ② 高知県の産業の振興を図る。
- ③ 友人を生徒会長に推す。

①	がんゆう
②	しんこう
③	おす

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 新聞広告でセンデンする。
- ② 道路をカクチョウする。
- ③ 友人の誕生日をイワウ。

①	宣伝
②	拡張
③	祝う

(3) 次の行書で書かれた漢字を、楷書で書いたときの総画数を数字で書け。

**護** 楷書「護」

20画

(4) 「自分の都合のよいように言ったり、したりすること」という意味をもつ四字熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、大義名分 (行動の理由づけとなる根拠のこと) イ、我田引水 (自分の田へ水を引くこと) ウ、馬耳東風 (人の意見を聞き流すこと)  
 エ、付和雷同 (他の意見にわけもなく賛成すること)

イ

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H26】  
 (1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 至上の幸福を味わう。
- ② 利用者の便宜をはかる。
- ③ 名人の誉れが高い。

①	しじょう
②	べんぎ
③	ほまれ

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① 議論がハクネツする。
- ② ヒバンに耳を傾ける。
- ③ 科学の実験をココロみる。

①	白熱
②	批判
③	試みる

(3) 次の行書で書かれた漢字のへんの名称を、ひらがなで書け。

**被** 楷書は「被」

ころもへん

(4) 敬語の使い方として誤った表現を含む文を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

- ア、母が先生にお会いしたいと申しております。
- イ、私たちの学級新聞ができましたので、先生も拝見してください。
- ウ、学習発表会の当日は、お客様が大勢いらつしやいます。
- エ、春休みに、先生のお宅にうかがってもよろしいですか。

一、次の(1)～(5)の問いに答えなさい。【H27】

(1) 次の①～③の文の——線部の漢字の読みがなを、それぞれ書け。

- ① 鳥が大空を旋回する。
- ② 昔からの習慣を踏襲する。
- ③ 先輩に敬意を払う。

①	せんかい
②	どうしゅう
③	はらう

(2) 次の①～③の文の——線部のカタカナを、それぞれ適切な漢字に直して書け。

- ① カクチョウの高い文章である。
- ② 飛行機のソウジュウを学ぶ。
- ③ 出発を翌日にノボす。

①	格調
②	操縦
③	延ばす

(3) 次の行書で書かれたア～エの漢字のうち、漢字を組み立てている部分の中の「かんむり」の筆順が、楷書で書く場合と異なっているものを一つ選び、その記号を書け。

ア、**荷** イ、**究** ウ、**笑** エ、**会**

ア

(4) 「人の意見や批評などを、心にとめないで聞き流すこと」という意味を持つ四字熟語を、次のア～エから一つ選び、その記号を書け。

ア、行雲流水 (とどまることなく移り変わること) イ、朝令暮改 (法令や命令が頻繁に変わって定まらないこと) ウ、神出鬼没 (出没が自由自在で、その所在が容易につかめないこと) エ、馬耳東風

エ